年間授業計画　新様式例

高等学校 令和４年度（１学年用）　　教科　社会科　　科目　公共

教　科：　社会科　　科　目：　公共　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　　1 組～　3 組

教科担当者：（1組：矢田・羽山）　（2組：矢田・羽山）（3組：矢田・羽山）

使用教科書：（『公共』実教出版　　）

教科　社会科　　の目標：

【知識及び技能】　多種多様な情報を収集したうえで合理的・論理的に取捨選択し、有用な情報の体系を創ることができる。

【思考力、判断力、表現力等】　歴史的な見方・考え方や公民的資質を基に、自分の考えを、論理的で分かりやすい文章で表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】　既存の知識を踏まえ、未来の世界や日本、あるいは人間の在り方に生き方ついて探究することができる。

科目　公共　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
多種多様な情報を収集したうえで合理的・論理的に取捨選択し、有用な情報の体系を創ることができる。	歴史的な見方・考え方や公民的資質を基に、自分の考えを、論理的で分かりやすい文章で表現できる。	既存の知識を踏まえ、未来の世界や日本、あるいは人間の在り方に生き方ついて探究することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元　社会を作る私たちと人間としてよく生きること 【知識及び技能】 青年期の特徴と発達課題や古代ギリシャと日本固有の価値観や思想を自分に引き付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 青年期の特徴と発達課題や古代ギリシャと日本固有の価値観や思想について、自分事として考察し、他者と対話ないしは議論する。 【学びに向かう力、人間性等】 青年期の特徴と発達課題や古代ギリシャと日本固有の価値観や思想について、自分事として捉える姿勢を育む。	・指導事項 青年期の特徴 自己形成の課題 職業生活と社会参加 日本固有の価値観と思想 古代ギリシャの人間観 ・ 教材 レジュメ、要点プリント、教科書、資料集、映像資料等	【知識・技能】 青年期の特徴と発達課題や古代ギリシャと日本固有の価値観や思想を自分に引き付けて理解することができる。 【思考・判断・表現】 青年期の特徴と発達課題や古代ギリシャと日本固有の価値観や思想について、自分事として考察し、他者と対話ないしは議論することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 青年期の特徴と発達課題や古代ギリシャと日本固有の価値観や思想について、自分事として捉えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 単元 他者とともに生き、人間としてよく生きる 【知識及び技能】 近代以降の西洋哲学の内容を理解するとともに、日本におけるその受容のあり方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】　西洋哲学と日本思想の内容を正確に説明できるようになるとともに、その考え方を踏まえ、現代の諸課題を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 先哲の思想を、現代の諸課題との関連において捉える姿勢を育む。	・指導事項 科学と人間 自由の実現 社会を作る人間 人間と幸福 公正な社会をめざして ・ 教材 レジュメ、要点プリント、教科書、資料集、映像資料等	【知識・技能】 近代以降の西洋哲学の内容を理解するとともに、日本におけるその受容のあり方を理解することができる。 【思考・判断・表現】 西洋哲学と日本思想の内容を正確に説明できるようになるとともに、その考え方を踏まえ、現代の諸課題を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 先哲の思想を、現代の諸課題との関連において捉えようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2学期	A 単元　民主国家における基本原理と現代の経済社会 【知識及び技能】 先哲の思想を踏まえて人間の尊厳と平等を適切に理解するとともに、現代の経済社会の基本原理を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 西洋思想の道徳哲学や功利主義などの考え方を手掛かりに、適正な民主政治や公正な経済社会のあり方を考察し、対話・議論をする。 【学びに向かう力、人間性等】 身に付けた知識・技能を援用して、適性な民主政治や公正な経済社会のあり方を協働的に考察する姿勢を育む。	・指導事項 民主政治の成立 民主政治の基本原理 世界の主な政治制度 経済主体と経済活動の意義 経済社会の変容 市場の仕組み ・ 教材 レジュメ、要点プリント、教科書、資料集、映像資料等	【知識・技能】 先哲の思想を踏まえて人間の尊厳と平等を適切に理解するとともに、現代の経済社会の基本原理を理解することができる。 【思考・判断・表現】 西洋思想の道徳哲学や功利主義などの考え方を手掛かりに、適正な民主政治や公正な経済社会のあり方を考察し、対話・議論をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身に付けた知識・技能を援用して、適性な民主政治や公正な経済社会のあり方を協働的に考察しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	B 単元　日本の政治機構及び政治参加と日本経済の特質 【知識及び技能】 選挙制度を軸に、日本の統治機構の原理や仕組みを理解するとともに、日本経済の推移や消費者問題、労働問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 民主的な選挙制度、公正な裁判と刑罰、健全な財政運営、適正な労働環境、健全な環境保全などについて、それらのあるべき形・姿を考察し、対話・議論をする。 【学びに向かう力、人間性等】 身に付けた知識・技能を援用して、現代の諸課題を協働的に考察する姿勢を育む。	・指導事項 選挙制度 正論と政治参加 公正な裁判の保障 地上自治と住民福祉 経済成長と国民の福祉 金融の役割 財政の役割と租税 公害の防止と環境保全 労働問題と労働差の権利 ・ 教材 レジュメ、要点プリント、教科書、資料集、映像資料等	【知識・技能】 選挙制度を軸に、日本の統治機構の原理や仕組みを理解するとともに、日本経済の推移や消費者問題、労働問題について理解することができる。 【思考・判断・表現】 民主的な選挙制度、公正な裁判と刑罰、健全な財政運営、適正な労働環境、健全な環境保全などについて、それらのあるべき形・姿を考察し、対話・議論をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身に付けた知識・技能を援用して、現代の諸課題を協働的に考察しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3学期	A 単元 国際政治と国際経済の動向と課題 【知識及び技能】 国際法の基本原理に基づく国際社会のあり方を理解するとともに、グローバル化する国際経済の様相を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会が政治と経済の両面で抱える課題を把握し、その解決の糸口や目標へ向かう道筋について考察し、対話・議論をする。 【学びに向かう力、人間性等】 身に付けた知識・技能を援用して、国際社会の諸課題を協働的に考察する姿勢を育む。	・指導事項 国際社会と国際法 国際連合と国際協力 人種・民族の問題 貿易と国際収支 外国為替市場の仕組み 地域的経済統合の進展と課題 国際経済のつながりと課題 ・ 教材 レジュメ、要点プリント、教科書、資料集、映像資料等	【知識・技能】 国際法の基本原理に基づく国際社会のあり方を理解するとともに、グローバル化する国際経済の様相を把握することができる。 【思考・判断・表現】 国際社会が政治と経済の両面で抱える課題を把握し、その解決の糸口や目標へ向かう道筋について考察し、対話・議論をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身に付けた知識・技能を援用して、国際社会の諸課題を協働的に考察しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査						1
							合計 70